

児童がよくかかる感染症一覧

病名	主な症状	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹 (はしか)	初め風邪様症状が続く。発熱・目の充血・目やにが出る。発疹は全身に広がる。	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
風疹 (三日はしか)	発熱と共に、顔・首から発疹が出て、1日で全身に広がり、3日ぐらいで消える。	発疹出現の前7日から後7日間くらい	発疹が消えてから
突発性発疹	突然の高熱が3~4日続き、熱が下がると発疹が出る。便がゆるくなることがある。	発熱中	解熱し機嫌が良く全身症状が良いこと
溶連菌感染症	急な高熱・寒気・頭痛・のどの痛みがあり、発疹が全身に広がる。	抗菌薬内服後、24時間を経過するまで	抗菌薬内服後24~48時間経過していること
水痘 (水ぼうそう)	腹・背中に赤い斑点ができ、全身に広がる。発疹は水疱になり、かさぶたになる。	発疹出現1~2日前からかさぶたができるまで	全ての発疹がかさぶたになってから
流行性耳下腺炎 (おたふく風邪)	耳下腺(耳の下)などの痛みと腫れ。頭痛・発熱をとともなうこともある。	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身症状が良好になるまで
インフルエンザ	急に高熱が出て、寒気・全身倦怠感・関節痛・頭痛などがみられる。	症状がある期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで(幼児にあっては、3日を経過するまで)
咽頭結膜熱 (プール熱)	高熱が数日続き、のどの痛みが強く、目が赤くなる。	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	目が充血し、まぶたが腫れ、目やにが出る。	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いので結膜炎の症状が消失してから
ヘルパンギーナ	発熱が数日続き、のどの奥に水ぶくれができ痛む。夏に流行する。	急性期の数日前(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	嘔吐・下痢・腹痛・発熱が主症状。便は水様性。	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	発熱・鼻水・咳などの呼吸器症状が出る。	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身症状が良いこと

病名	主な症状	感染しやすい期間	登園のめやす
百日咳	かぜのような症状から始まり、次第に咳が強くなる。夜間に悪化し、咳こんだ後ヒューと強い息を吸い込む特有の咳をする。	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
マイコプラズマ肺炎	かぜのような症状の後、咳が続き、次第に激しくなる。特に夜間に強い。	症状発現時がピークで、その後4から6週間続く	発熱や激しい咳が治まっていること
腸管出血性大腸菌感染症 (O157・O26等)	激しい腹痛・水様の便・血便が主症状。	便中に菌を排泄している間	症状が始まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
手足口病	手足や口の中に水ぶくれができる。口の中が痛くて食べられないことがある。	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅班 (リンゴ病)	かぜのような症状の後、ほほが赤くなったり、手足に赤い斑点が出る。	発疹出現前の1週間	全身症状が良いこと
帯状疱疹	水痘にかかったことのある子が何年かたって再発したもの。	水疱を形成している間	全ての発疹が痂皮化(かひか・かさぶた)してから

感染する病気にかかった場合



富士子ども園に連絡の上、かかりつけの病院で、集団生活にさしつかえないかどうか許可をもらってから、登園してください。
(保育者に必ず、お知らせください)



平熱より1度以上上昇している時・熱はなくてもぐったりしているなどの症状が見られた場合は、連絡させていただきます。

特に乳児は体温調節機能がまだ十分ではなく、状態が急変する場合があります。熱がそれほど高なくても、いつもと様子が違う場合は、保護者の方がお医者さんに行かれることも考慮して、状態を連絡させていただく場合もございます。

子どもたちの命に関わることでありますので、何卒ご理解のほど、よろしくお願い致します。